

街道

歴史ある3つの街道

大阪と和歌山を結ぶ紀州街道、和歌山県熊野本宮への参詣道である熊野街道、住吉大社から東側に延びる住吉街道。住吉大社を挟むように、3つの街道が延びています。

紀州街道

織田信長の時代、石山合戦のころよりできた街道。現在は阪堺線の路面電車が走り、独特の雰囲気を出しています。

熊野街道

和歌山県熊野本宮への参詣道で、平安時代から鎌倉時代にかけて「蟻(あり)の熊野詣」といわれる程、多くの人々の往来でにぎわいました。

住吉街道

住吉大社付近で紀州街道から東に分岐し、住吉大社を横切り現在の長居交差点に通る道筋の名称として用いられています。

6「住吉行宮跡(すみしあんぐうあと)」

南北朝時代、後村上天皇は、たびたび住吉大社に行幸し、ここにあった住吉大社 神主津守氏邸の正印殿を行宮とした。その後、後村上天皇が崩御し、長慶天皇が即位して吉野に移るまでの約9年間、ここが行宮となっていた。国指定史跡。



7「木下家」



住吉街道沿いに建つ大壁造りの漆喰壁の町家建築。間口が長い江戸末期の日本家屋であり、黄味がかかった漆喰壁に虫籠窓が特徴的。往時を偲ぶ貴重な建物です。

8「池田家」



高燈籠や白壁の虫籠窓等、外観だけでも歴史を感じます。老舗味噌屋の池田屋本舗として、現在も昔ながらの味噌作りをしています。築400年以上という建屋は、国の有形文化財に登録されています。

9「帝塚山古墳」



市内に残る四古墳の1つで、5世紀初頭の前方後円墳です。現存している塚は、前方後円墳として原形をとどめる市内唯一のものです。

10「万代池公園」



聖徳太子が曼荼羅經をあげ、池に住む魔物をしずめたことから「まんだら池」がなまったものと伝えられています。桜やかきつばたの名所として親しまれています。池の周囲は約700m。

各スポットの場所はP9に記載してあります。